

健康・観光街づくり「スマイル 松山プロジェクト」

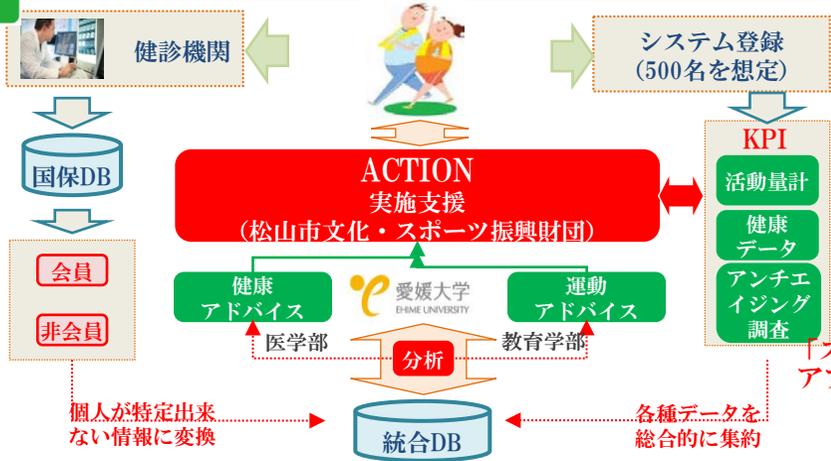
提案者 松山市、(株)愛媛新聞社、(株)パイブドビッツ、(株)大栄電機工業、(株)電通西日本、(株)電通、イー・ビー・ヘルス・ケア(株)、(以上、事業コンソーシアム)、愛媛大学、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団

実施地域 愛媛県松山市

事業概要 住民の街、観光の街、松山が活力ある街であり続けるために、①健康ICT事業、②観光ICT事業、③減災ICT事業の3つの事業を実施。住民の健康増進を図り、松山をより深く知り関与を深める観光を実現し、また有事の際の住民、観光客の避難支援、安否確認の仕組みを確立して、同市の将来都市像「人が集い笑顔広がる幸せ実感都市まつやま」の実現を目指す。



健康ICT事業



KPIの各要素
 分析要素①：活動量計（歩行、距離、エネルギー消費量、脂肪燃焼量、活動時間等）
 分析要素②：健康データ（体重、体脂肪率、内臓脂肪率、血圧等）
 分析要素③：アンチエイジング調査（骨年齢、血管年齢、脳年齢、筋肉年齢）

観光ICT事業



回遊性・滞在性を高め健康志向にも配慮した、新たなICT連動型観光活性プログラムの提供

観光情報表示機能
 ●観光情報（観光地、推奨観光ルート、レストラン、イベント等）を選択表示。回遊・滞在性向上を狙う。

観光の健康効果見える化機能
 ●主要観光ルートについて、距離による消費カロリーの目安を表示。観光の健康効果を見える化する。

俳句作成・投句・閲覧機能
 ●街歩きしながら俳句の街松山を楽しむ、俳句・投句・閲覧できる機能を付加することで、街をより深く知り回遊する契機に。

KPIの各要素
 分析要素①：アプリDL数
 分析要素②：クーポン利用数
 分析要素③：観光スポットへの立ち寄り数
 分析要素④：使い勝手、満足度
 分析要素⑤：健康効果表示の評価
 分析要素⑥：避難所表示に対する評価

防災ICT事業



■平時：街歩き・防災教育
 平時は健康街歩きルート、観光ルートを表示。避難場所や災害予測を表示。日常からの防災意識を高める



■緊急時：避難支援・安否確認
 緊急の際は現在地から災害に応じて最寄りの避難所を表示する機能を付与。予め登録しておいた緊急時連絡先に安否を連絡する機能も持つ。

